

# 愛媛教育月間

11月5日(火)～11日(月)の5日間を、教員が相互に授業を参観するとともに、保護者等に公開する相互参観・公開授業週間としました。15日(金)には、人権・同和教育ホームルーム活動の公開授業がありました。

焦点授業のクラスが、学年ごとのテーマに沿い、学習に取り組みました。明るい展望に立って真剣な態度で取り組むことができました。



# PTA研修旅行 in 高知

12月1日(日)高知方面に研修旅行に行きました。「北川村モネの庭マルモツタン」から「土佐夕夕キ道場」(昼食から焼き体験、桂浜水族館とこじやんと(とても)充実した内容でした。)



**編集 後記**  
あつと言っ間  
の三年間でした。  
あまり多くはお  
手伝いできませんでしたが、  
PTA活動に関わらず子ども  
達に笑顔を見ることができ  
ました。今後も小松高校の  
御活躍を応援しています。  
本当にありがとうございました。

一年間PTA活動を通して、子ども達との交流ができたことに感謝しかありません。微力ですが、子ども達のより良い学校生活に今後とも協力させて頂ければと思います。皆様、ありがとうございました。

高岡 明美

運動会や小松ウオーケラリーのお手伝いをさせて頂きました。支え合って、笑い合って、頑張っている生徒達を見て、思わず「一緒にやりたいな!」と、思っていました。体力的に無理ですが、楽しいPTA活動でした。一年間ありがとうございました。

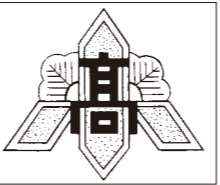
十亀 博行

PTA活動を通してキラキラした子ども達の様子を間近で見ることができました。貴重な経験をさせていただきました。ありがとうございました。

近藤 貴子



発行所 小松高等学校  
編集責任 PTA文教部 総務厚生



## 校章の由来

松に囲まれた小松高校を抽象化した松の絵に小松の「小」と「高」を配した。

## 積微力行



## 今年度のPTA活動を振り返って

PTA会長 吉實 勇治



二〇二四年度のPTA活動は、私たちが掲げた目標「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」一人は全員の為に、全員は一つの目的のために、様々な活動を通じて絆を深め、協力し合いながら進めてきました。この目標に込めた思いは、まさに学校と家庭が一体となり、生徒一人ひとりの成長を支えるために力を合わせることの重要性です。今年一年を振り返りながら、この目標を実現するために多くの素晴らしい成果を上げることができたと思っております。

今年度のPTA活動の中でも特に印象深かったのは、竹林整備、体育大会、そして小松高祭の三つの大きなイベントです。これらの活動は、すべて「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」の精神を具現化する機会となり、PTAが一丸となって協力する大切さを再認識させてくれました。竹林整備については、今年度も年三回、学校周辺の竹林整備を行いました。この竹林は、学校にとって重要な自然環境であり、地域の方々との接点にもなり、生徒たちの登下校の安全にも重要な場所です。しかし、竹が急速に成長し、放置されると地域の景観や生徒たちの視界に影響を与えることがあります。そのため、PTAとして積極的に手を貸し、竹林の整備活動を行っております。整備の際は、竹の成長具合や作業の大変さに驚く事もありますが、参加された保護者の皆さんは一丸となって取り組んでくださいました。体力的に厳しい作業が続きましたが、皆さんが協力し合い、作業を終えるたびに達成感を味わいました。竹林が整備され、きれいな景観が戻ると、PTAとして生徒たちの学校生活の安全に貢献出来たことに大きな誇りを感じました。竹林整備を通じて、保護者同士の絆も深まり、コミュニケーションの場としても非常に貴重

な時間となりました。

次に、九月に行われた体育大会についてです。体育大会は、学校行事の中でも特に生徒たちの活気を感じることができるといえます。今年も保護者の皆さんは、多大なるご協力をいただきました。保護者の皆さんが忙しい中でも協力して飲み物の販売を行い、生徒たちの熱中症を防止、また、競技を見守りながら生徒たちの努力を応援し、生徒たちが自分の限界に挑戦し、「一生懸命に走り、競技を楽しんでいる姿を見ると私たちが共に体育大会を作り上げている一員となっていることを実感しました。そして、このような協力が、学校全体をより一層強い絆で結びつけると感じました。

続いて十一月に開催された小松高祭。今年度も素晴らしい作品やパフォーマンスが数多く披露され、生徒たちの創造力や表現力が驚かされました。保護者の皆さんも、焼きそばや牛串串をお楽しみし、学校全体で一つの大きなイベントを作り上げることができました。生徒たちが自分たちで企画し、準備した展示やパフォーマンスを観覧することができたのは、保護者としてもとても誇らしいことです。特に、保護者同士で協力し合いながら準備を進め、文化祭を盛り上げる様子を見て、改めて「ONE FOR ALL ALL FOR ONE」という言葉が体現されていることを実感しました。文化祭の成功は、保護者、教職員、生徒がそれぞれの立場で協力し合った結果だと思っております。

## 「小松町ふるさと祭り」から感じたこと

校長 村井 浩昭



「小松町ふるさと祭り」が昨年八月二十四日に小松町駅前通りで行われました。大行列を五年ぶりに復活させる計画があり、本校生徒中心に、東予高校、丹原高校の生徒も何人か参加して、様々な役割を与えられ、駅前通りを練り歩きました。生徒だけが出演するものだと思っていたら、大人の方もおり、本校教員三名も行列に加わっていました。三人三様、近習(きんじゅう)という主君の身辺警護などが任務の武士、槍を持つ武士という藩の特徴を生かした槍を持つ武士、そして、篤山先生を乗せた籠を先導する武士に扮していました。それぞれにはまり役で生徒も含め、ひとときのタイムスリップを楽しんでいたように見えました。

大人になっても気が付けばいつの間にか友人関係になつていく場合があります。二女が保育園の時、役員の仕事を引き受けました。イベントの時に駐車場係をしたり、運動会のお手伝いをしたりする中で仲良くなったパパ友がいます。その後の子どもたちの進路は発達段階に応じてまちまちでしたが、子どもが成人となった今でもときどき集まってパーベキューをしながら趣味の話をしたり悩み事を打ち明けたりしています。こんなふうな友達ができるのも素敵なことだと実感いたします。

PTA会員の皆様を支えられ、令和六年度の教育活動が素晴らしい成果となって今年度へ引き継がれることを感じております。来年度は、現在の小松高校としては最後の入学生を迎え入れることとなります。PTA活動は新校となった後も継続して同じ校地で学ぼうということを重視し、協同で行う方向で調整しております。今後とも変わらず小松高校の教育活動への御協力と御支援をお願いいたします。また、皆様の活動が新しい絆となつて今後どこかで、育み続けることを望んでいます。







# 第43回竹林整備活動

11月10日(日)、13時30分から養正会館前で①受付後、13時から②開会式、諸注意を行い、③作業を行いました。間伐した竹をチップパー機にかけ、循環型社会の実現に向けた段ボールコンポストの基材(竹チップ)としました。

お持ち帰りも可能で、喜んでいただけました。生徒は登下校時に通る篤志の坂を見通し良くするために主体的に考えて動くことができました。

安全のため「竹林をよくする会」の方に粉碎機についてもいただきました。皆さんの御協力のお陰で、無事に実施することができたことに感謝申し上げます。素材の価値を高めるアップサイクルの方(生ごみを堆肥に変える「ダンボールコンポスト」・愛称ダン坊)にも御協力のほど、よろしくお願いいたします。



# 公開授業

11月5日(火)～11日(月)の5日間を、教員が相互に授業を参観するとともに、保護者等に公開する相互参観・公開授業週間としました。

参観者が机間指導するなど授業時間がそのまま参観者の研修時間にもなり、日頃より、授業改善及び授業力の向上を図るための研修を、効率的に実施することができました。



# ウオーキングクラブ

11月13日(水)、今年で15回目を迎えたウオーキング大会はコースを石鎚神社で折り返す12kmに変更して行いました。自然の中を歩くことにより、郷土の自然の良さを知るとともに、地域の人と触れ合い、協力する態度を養い、社会道徳などを身に付ける機会となりました。また、係役員としての活動を通して、「観る、支える、知る」という多様なかわり方があることも学びました。12kmコースを全員が完歩でき、記憶に残るウオーキング大会となりました。地域の皆さんの声援、PTAの給水所での御協力に感謝します。

